

(仮称) 門真市立生涯学習複合施設整備工事

実施設計概要書

地域とともにコミュニティを育む門真市の「新しいランドマーク」

周辺一帯の価値向上につながる公共性の高い施設計画

1階から屋上まで人を引き込む「スパイラルガーデン」や、建物中央を貫く開放的な吹抜空間「ギャラリーウォーク」により、本施設と周辺エリアをシームレスにつないでいきます。街に市民活動と緑があふれ出し、本施設とその周辺が活気あふれる魅力的な空間となることで、エリア全体の価値を高めていきます。

(1) 建物内外に賑わいを生み出す「スパイラルガーデン」

1階から屋上まで建物周囲をらせん状に取り囲むテラス空間「スパイラルガーデン」を設けます。

(2) 外部との関係を整える「アルミパンチングメタル外装」

建物外装にはカーボンニュートラルも考慮して、様々な開口パターンを持ったアルミパンチングパネルを採用し、視線や日射のコントロールを行い、快適な図書空間をつくります。

(3) 周囲の賑わいを引き込み広げる「ギャラリーウォーク」

建物内部には、1階から屋上までを縦に貫いた大きな吹抜空間（ギャラリーウォーク）を設けます。

(4) 歩行者中心のまちづくりに寄与する歩車分離の計画

建物全周において1階の壁面位置を上階よりもセットバック（後退）させることで、地上レベルに軒下の歩行空間を設けます。





■スパイラルガーデンが可視化された外観

- 外観の特徴として、アルミパンチングメタルの外装の間をガラス面が1階からスパイラル上に計画されている点です。また1階は内部の大階段、2階以上は各階ごとに異なる方角に配置されたスパイラルガーデンと外部階段によって、外観に変化を与えています。
- アルミパンチングメタルと外壁となる押出成形セメント板（ECP）の間をメンテナンススペースとしています。また外部階段下部は屋外機置場として活用しています。
- 1階西側は、2階のスパイラルガーデンが張り出し、心地よい軒下空間を形成しています。また西側の道路に対して、テラスの周りに植栽を配置し、さらに道路境界にも樹木を植え、ゆるやかに視線制御しつつ、空間のつながりを確保しています。

■建築概要

- 主な機能：図書館及び文化会館
計画地：門真市幸福町11番地
敷地面積：3,286.14 m²
建築面積：2,231.90 m²
延床面積：7,343.49 m²
階数：地上5階
構造種別：鉄骨造



■モノトーンを基調とした内装

- 天井はアルミルーバー、壁はアルミパネルやコンクリートのような質感のある素材で統一しています。色調は、モノトーンを基調とし、床のフローリングや書架もグレー調とすることで、外装と内装が同じ素材と色調となり、外と中がシームレスにつながることで、入りやすく、どこでも建物デザインのコンセプトが感じられる計画としています。
- 柱型やギャラリーウォークの階段等は、ダークグレー調とすることで、空間にアクセントを与えます。
- ルーバー天井は間隔を 250mm ピッチとすることで、その間に照明等の設備器具を配置できる計画としています。

- 4 階の子供ゾーンの床は安全性に配慮し、柔らかいタイルカーペットにしています。
- 階段書架エリアは、座って絵本等を読むことができる段状の書架や斜めのルーバー天井、5 階までの 2 層吹抜を設ける等、変化にとんだスペースとして計画しています。内装においてもコンクリートのような質感のある壁面や、吹抜周りはアルミ複合パネルの壁面、色分けされたタイルカーペット等とすることで、建物のコンセプトを感じながら、より楽しく子供たちが本に親しめる、豊かなスペースとなるよう配慮しています。

平面計画

配置計画

■各方位ごとの関係に配慮した配置計画

- ・1階壁面を上階より後退させて、建物全周に軒下空間を設けて、北側の駐輪場や北東の消防用活動空地の配置等をバランスよく計画しています。
- ・軒下空間は駐車場及び駐輪場の他、テラス空間の日よけとして機能します。
- ・外構の舗装の変化により、北・東の駐輪・駐車スペースと東・南の歩行空間をより明快にしています。また舗装はモジュール（1mグリッド）に呼応した割付とし、建物内外の空間の連続性に配慮しています。
- ・地上植栽は、西側では隣接する歩行者専用道路に対しての街路樹として、また東側は既存の住宅街への緩衝帯とする等、敷地周囲の状況に合わせて各方向それぞれに配置し、将来の樹木の成長を配慮した本数や配置間隔とした計画としています。

1階平面計画 - 日々の生活の充実とまちの交流拠点 -

■建物構成が一目でわかるオープンなづくり

- ・平面計画においても基本設計を踏襲した計画としています。ゾーニングは変わらず、オープンでわかりやすい空間となるよう計画しています。
- ・ギャラリーウォーク周りの区画についても、防火・防煙とも再度整理し、極力シャッター方立等が空間の広がり邪魔しないづくりとなるよう配慮した計画としています。
- ・スパイラルガーデンの内部エリアとなる南西の階段は昇り始めの部分を壁等でふさがず、開放的なしつらえとすることで、より利用者にわかりやすいものとなっています。

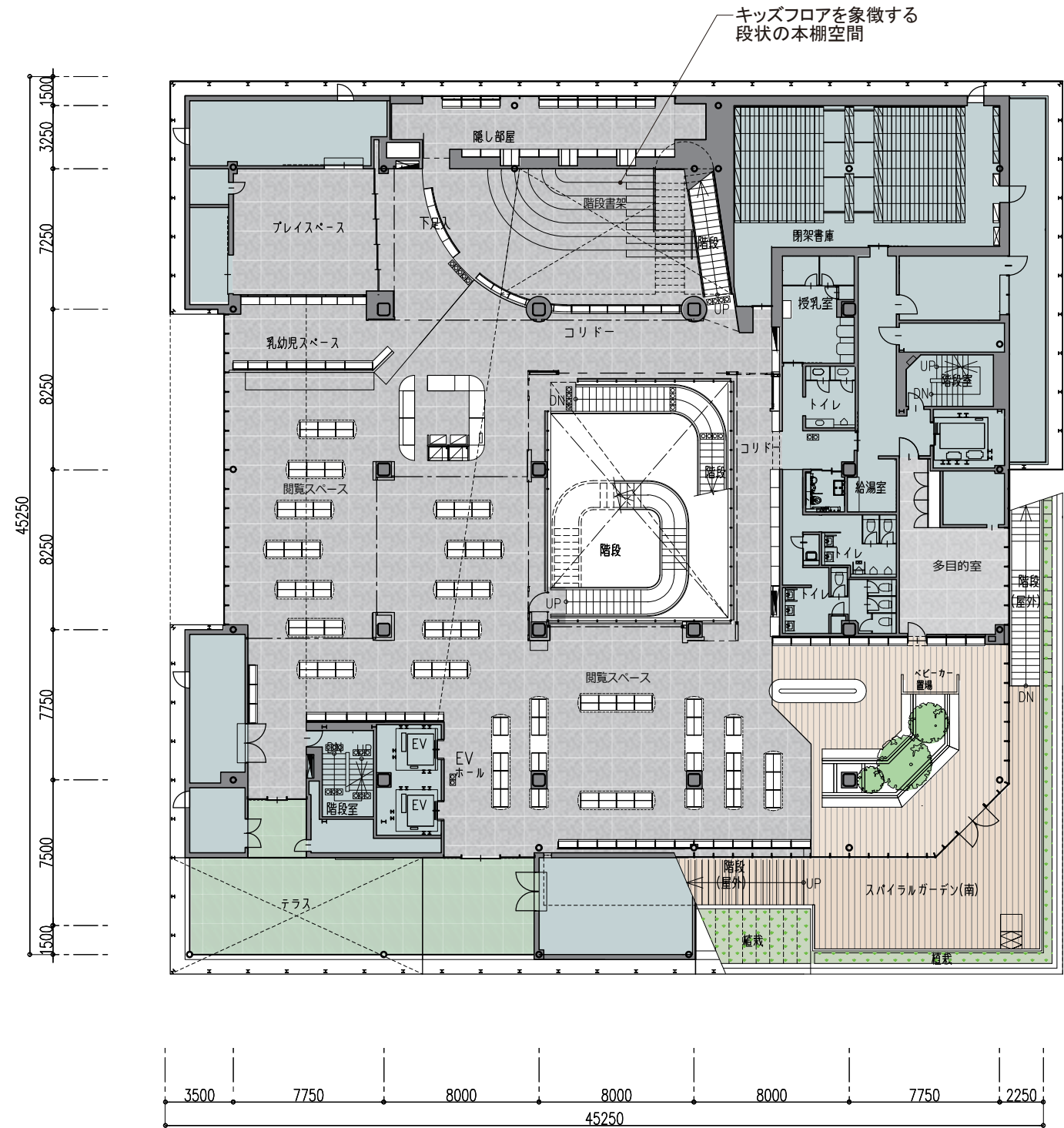


平面計画

4 階平面計画 - こどもの成長を育む場 -

■子育て世代に特化したエリア

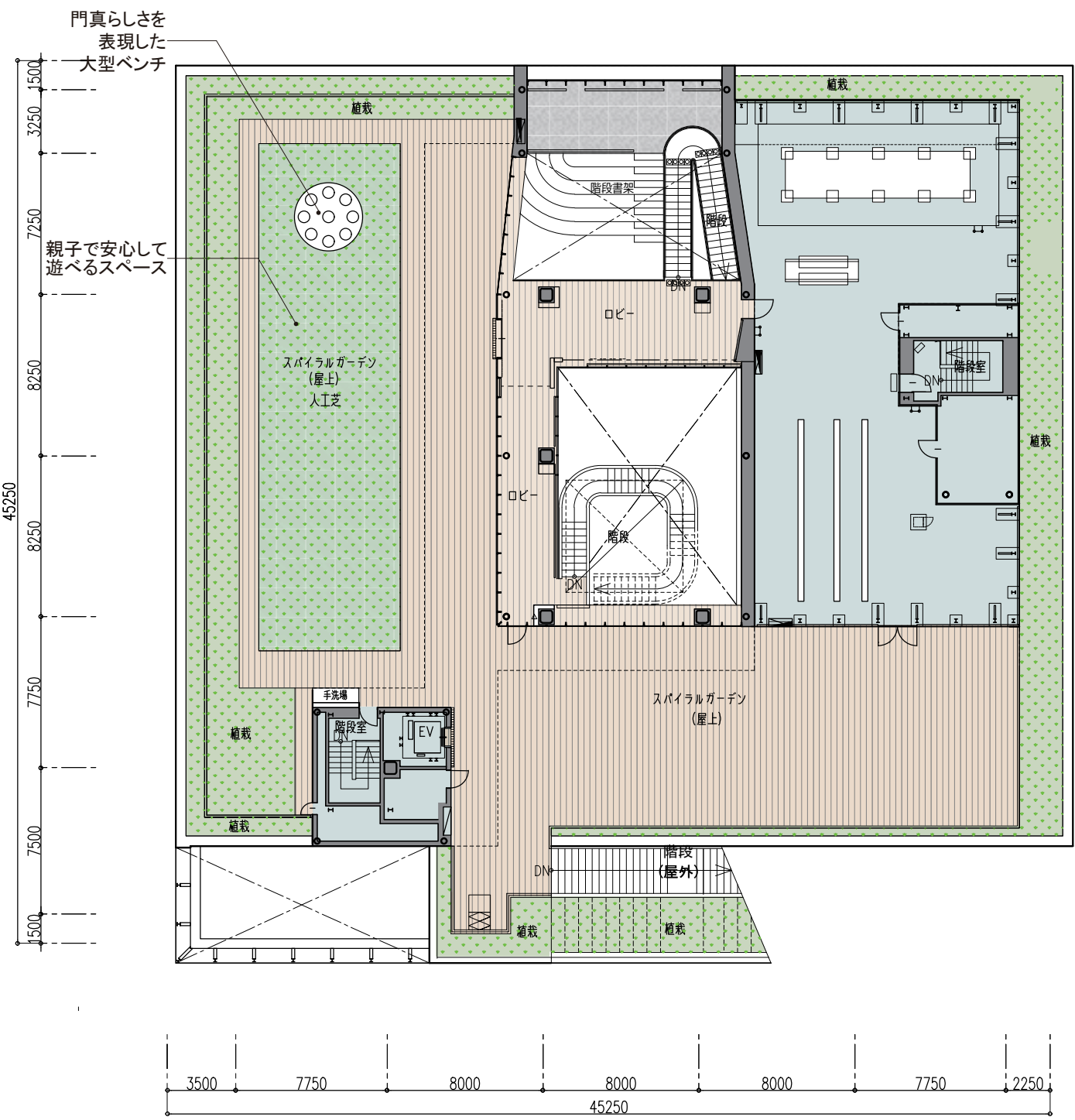
- ・ 子供の利用がメインとなるフロアのため、閲覧スペースの書架の角を丸くしたり、南東の交流スペースにはベビーカー置場を設ける等の配慮をしています。
- ・ 階段書架は書棚の高さを絵本の大きさ等から再度設定し、段数を調整しつつ、階段書架の手前のスペースを広く確保し、朗読等の様々なイベントに対応しやすい計画としています。



5 階平面計画 - まちと施設をつなぐオープンな屋外空間 -

■開放的な屋上空間

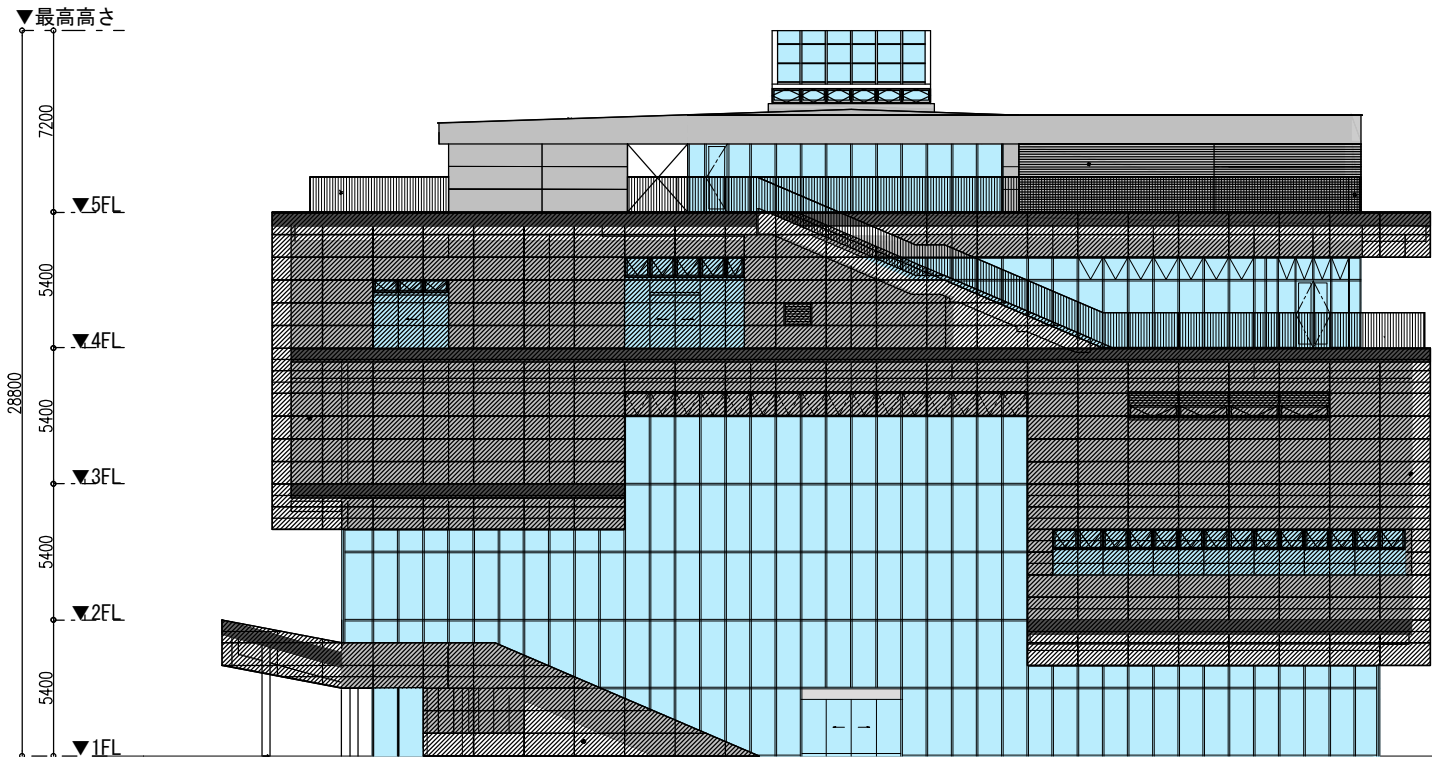
- ・ 屋上テラスは大きく2ゾーンに区分され、西側を子育て世代を中心とした利用を、南側を全年齢利用を想定しています。
- ・ 人工芝エリアには多人数で利用でき、門真らしさを感じる大型ベンチを設置しています。
- ・ 4 階からは、階段書架近くの階段からもアプローチでき、ロビー西側の出入口から人工芝のあるスパイラルガーデンにつながり、またギャラリーウォーク吹抜の階段からはロビーを経由して南側のスパイラルガーデンに出ることができます。



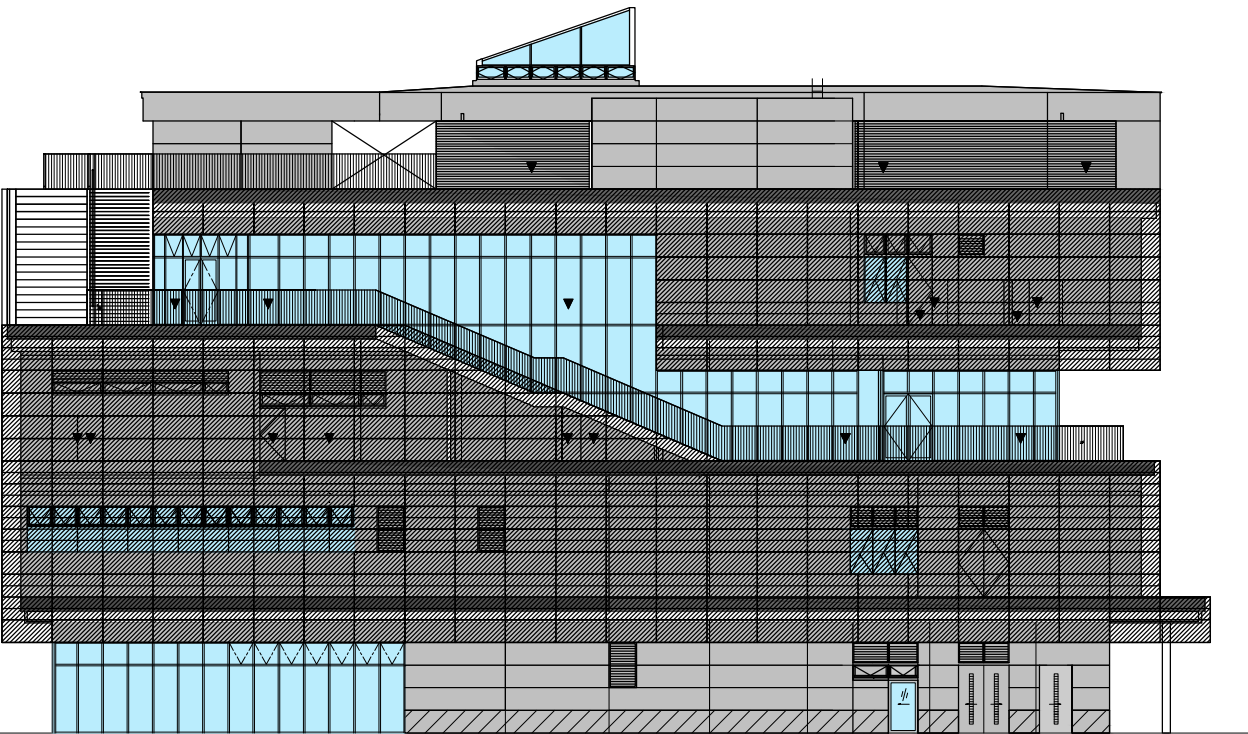
立面計画

■全周が正面となる計画

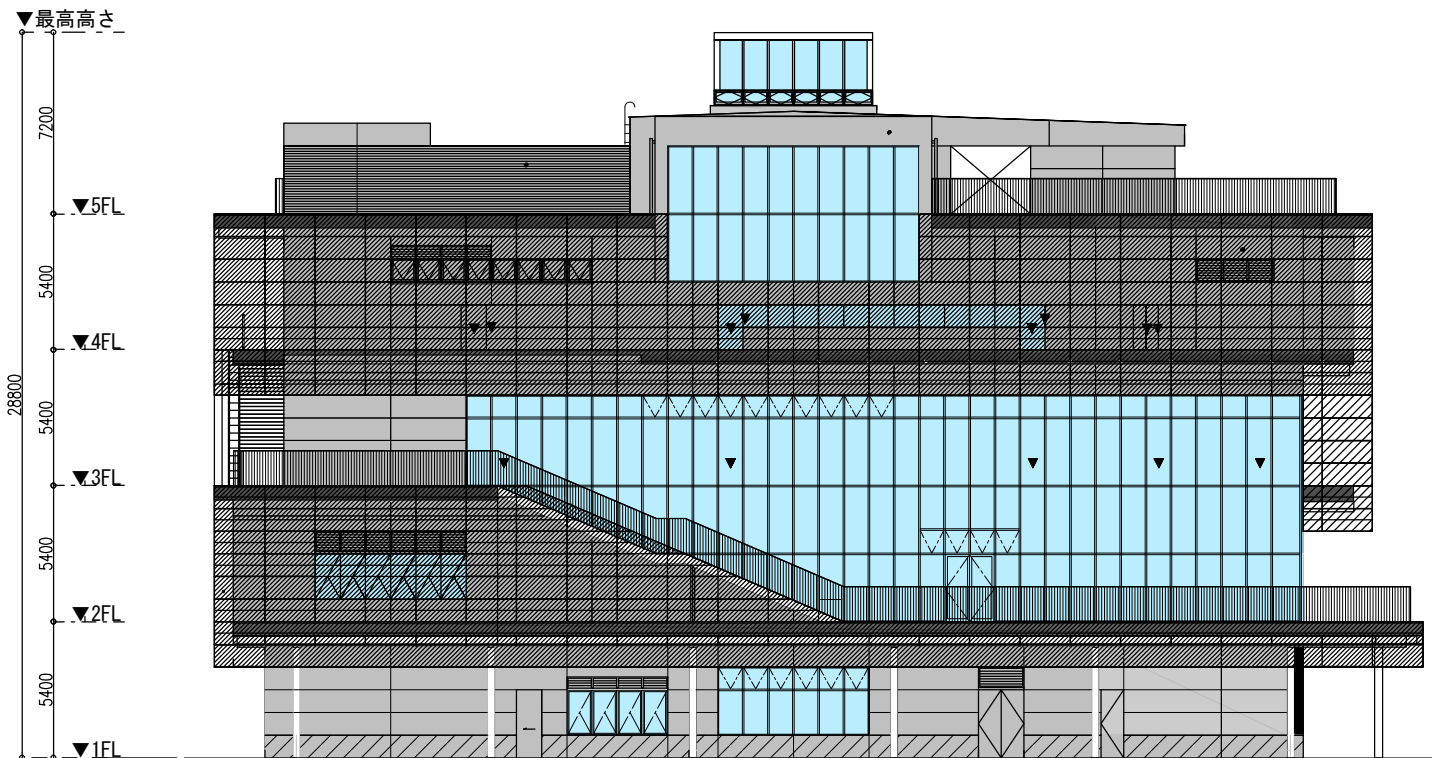
- ・計画地は全周が道路や広場に面しており、表裏がなく、すべてが正面となるため、内部空間との関係性を考慮しながら、それぞれが面する環境に配慮した立面構成としています。
- ・ガラス面は排煙窓の配置に十分配慮しながら、内部の動きが外部からもわかりやすいサッシ構成としています。



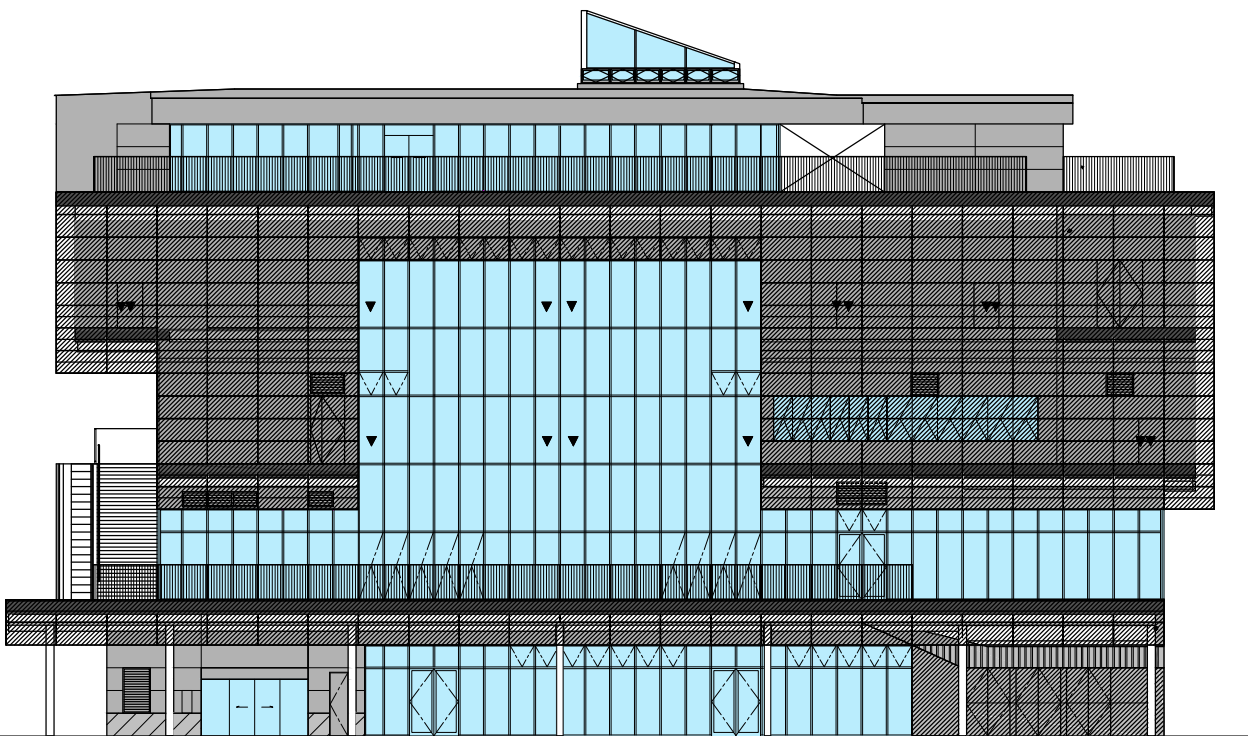
■南面



■東面



■北面

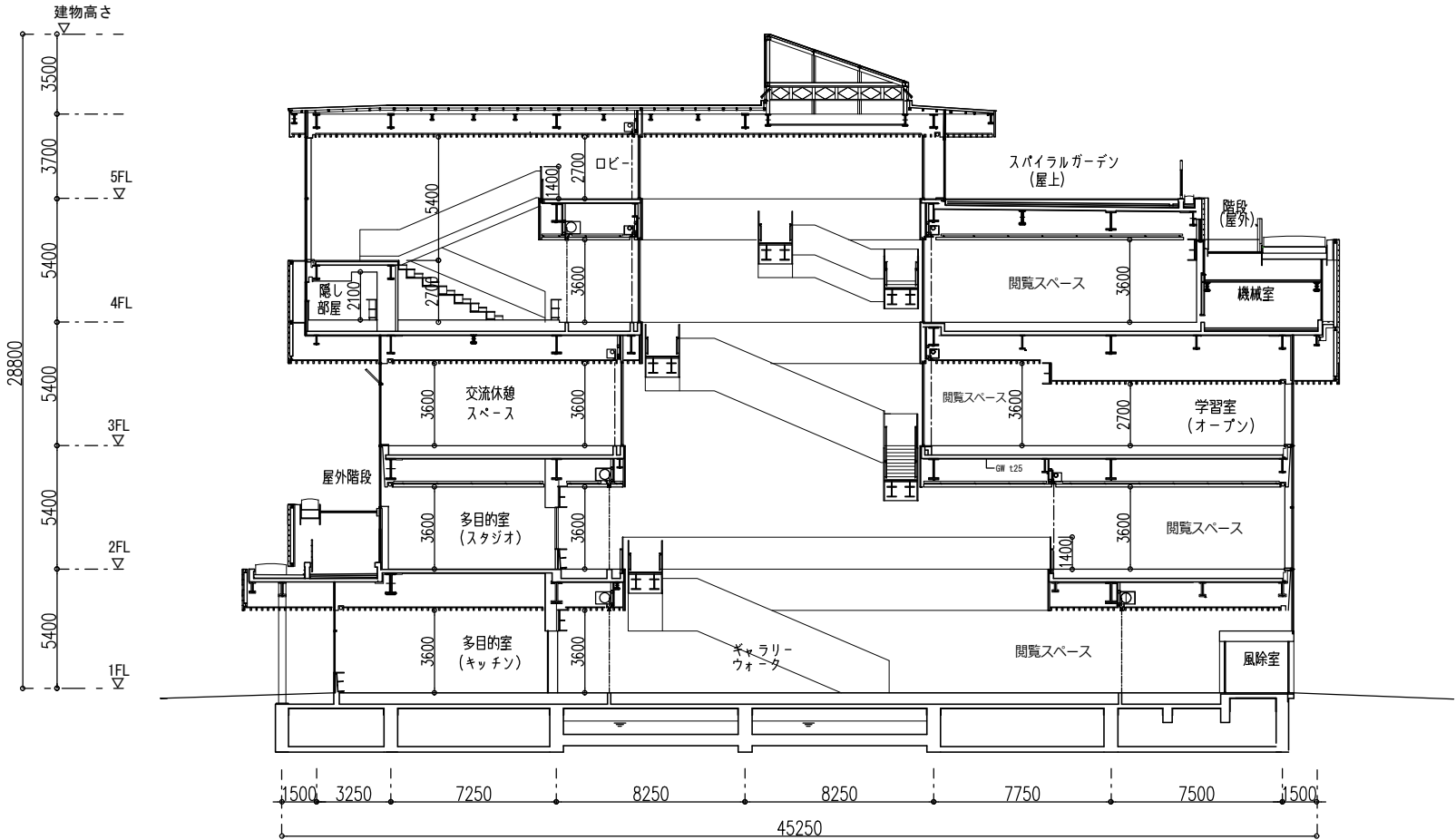


■西面

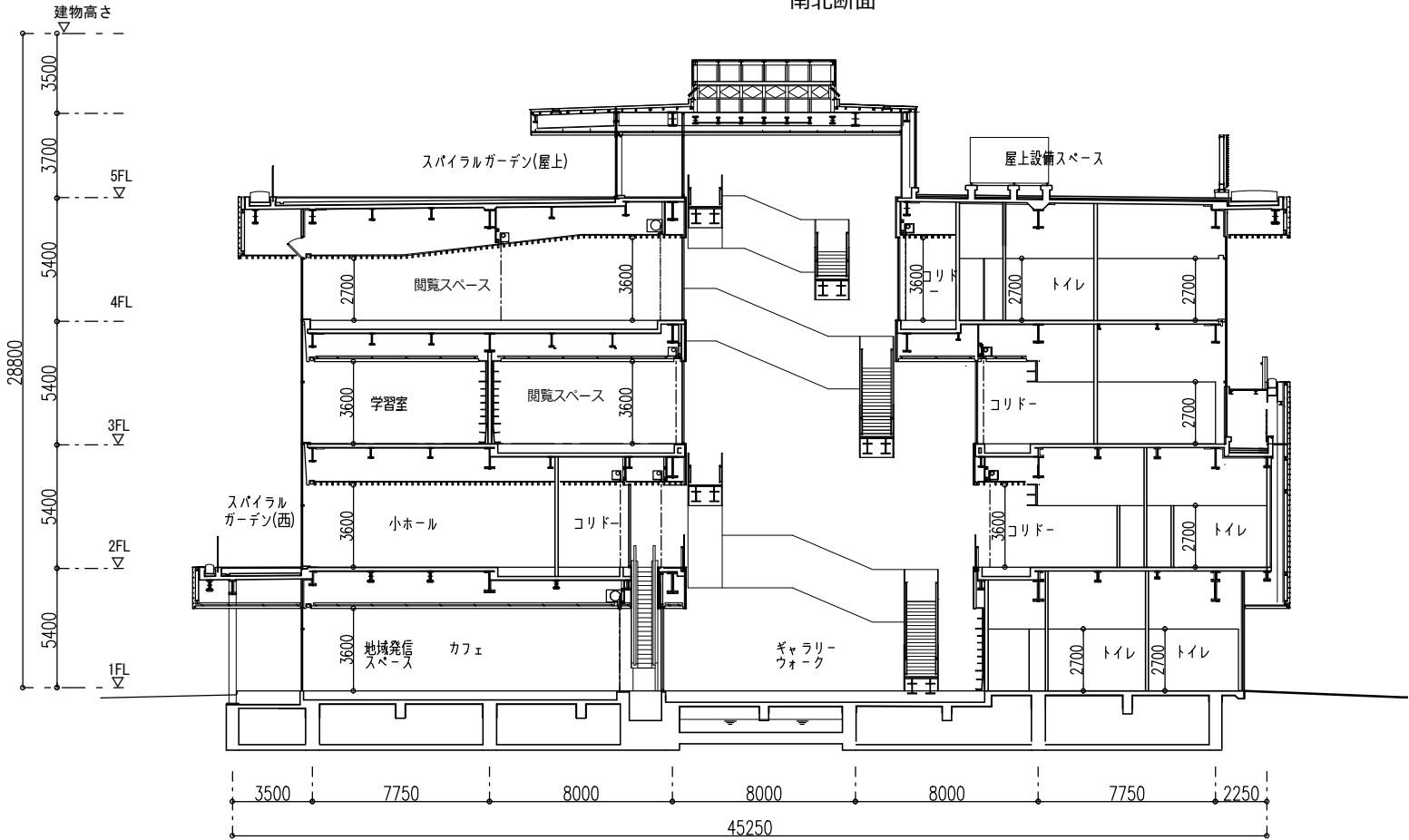
断面計画

■階をつなぐギャラリーウォークの吹抜

- ・ 階高さは 900mm モジュールを踏襲し、5.4m で各階構成しています。内部における天井の高さもモジュールに合わせ、主要なエリアは 3.6m、それ以外は 2.7m で計画しています。
- ・ 断面構成として、建物の中心にあるギャラリーウォークの上部が 5 階まですべて吹抜空間となり、ルーバー天井越しにトップライトからの柔らかい光がそそぐことで、建物中央が暗くならないよう、配慮するとともに、吹抜周りを開放的なしつらえとすることで、各階が吹抜を介して空間的につながり、また吹抜内部の階段で行き来できる構成としています。
- ・ 天井は、主要なエリアはすべてアルミルーバーで構成されており、外部の軒天井も同様とすることで内部と外部の連続性に配慮しています。また奇数階と偶数階でルーバーの方向を 90° 変えることで、空間に変化をもたらす工夫をしています。



南北断面

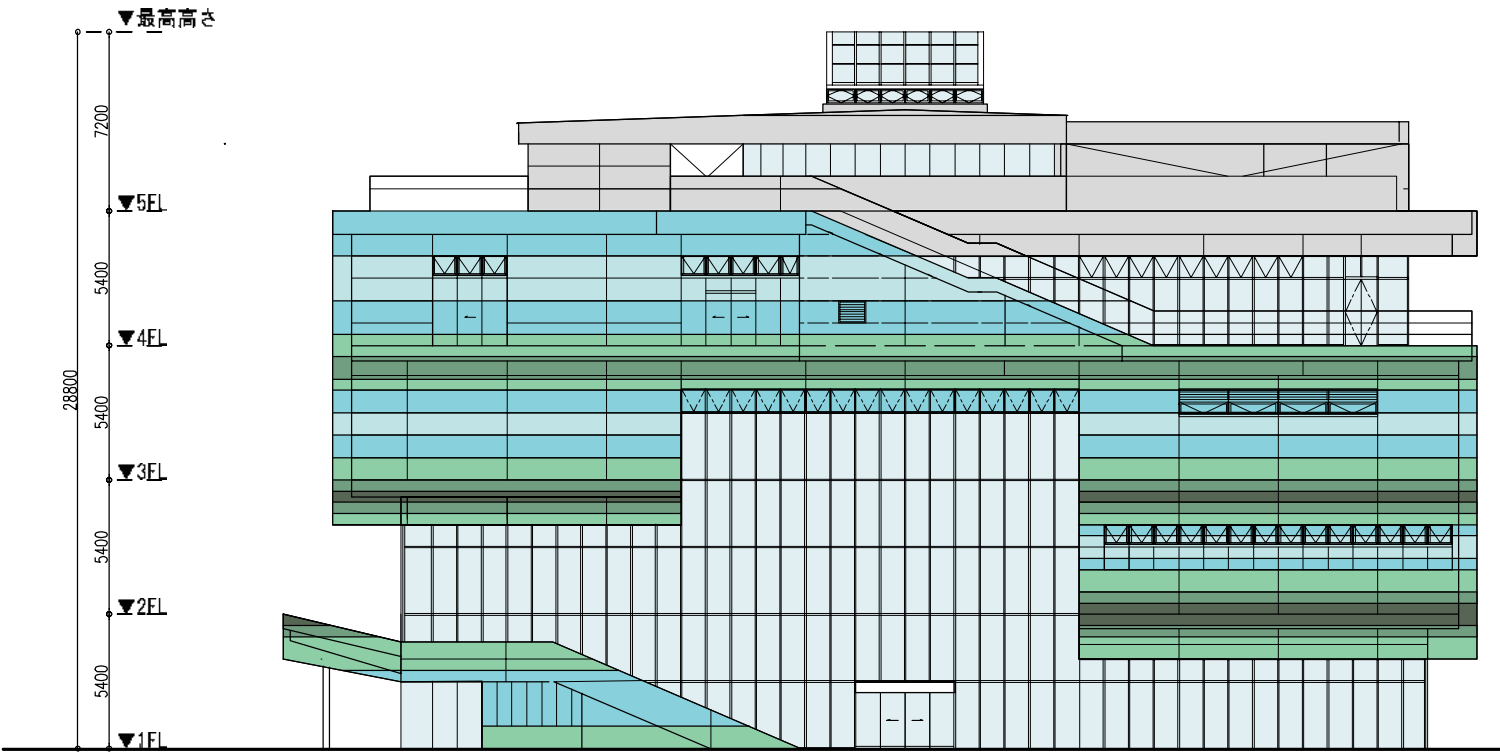


東西断面

環境と呼応するアルミパンチングメタルの外装

■多様な開口率と上下方向のグラデーション

- ・アルミパンチングメタルの外装は、内部空間やその背後の空間との関係を考慮し、異なる 5 種類の開口率の部材を使用しています。
- ・排煙や設備機器の排気等に配慮し、水平方向は同じ開口率とし、上下方向で開口率の大きいものから小さいものへとグラデーションに変化する配置としています。



■アルミパンチングメタル 割付パターン

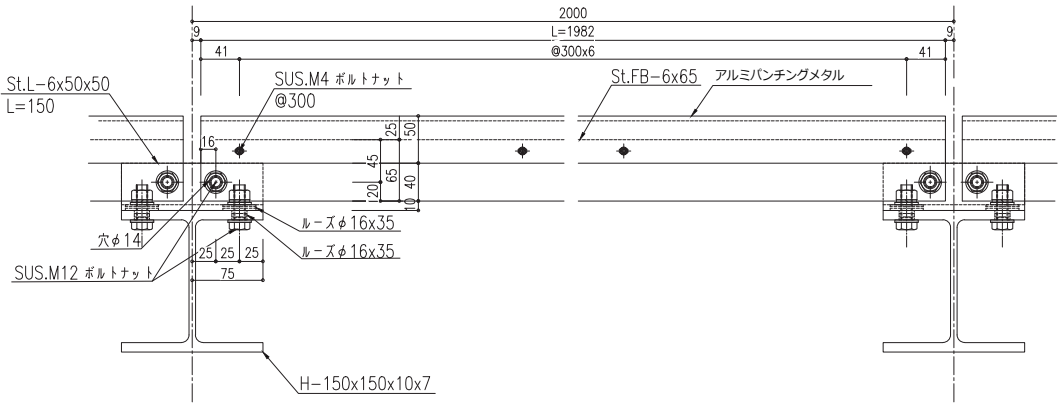
■アルミパンチングメタル 仕様リスト

パターン		開口率 (%)	Φ(mm)
		36.957	32.00
		45.173	35.00
		55.022	39.00
		58.200	37.79
		62.200	52.49

厚みをもった「透ける」外装

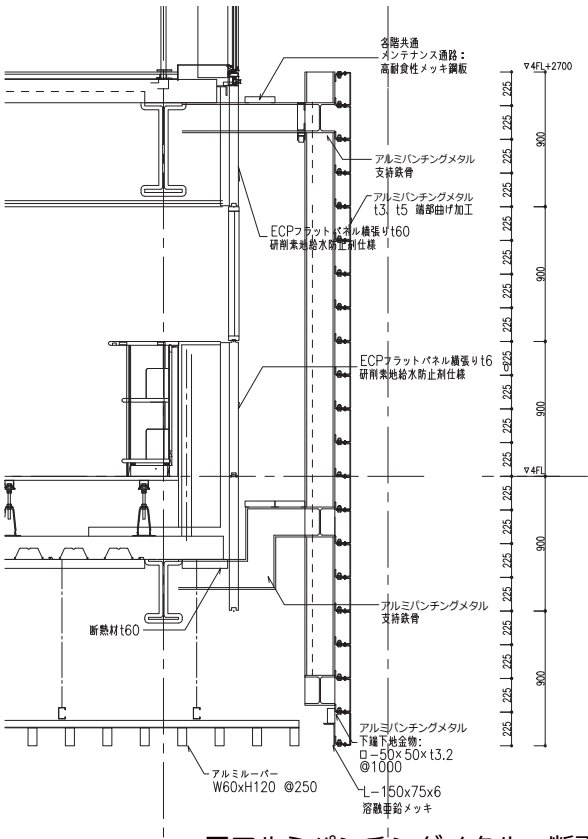
■モノとしての存在感を与える厚み

- ・アルミパンチングメタルを切り板状に用いるのではなく、端部を曲げ加工とすることで、厚みを持った面として、より素材感をもった外装としています。
- ・下地についてもアルミパンチングメタルの存在を際立たせる納まり・構成とするため、曲げ加工したパネルを上下のスチールのフラットバーで固定し、そのフラットバーを下地鉄骨に留めるシンプルな納まりとしています。

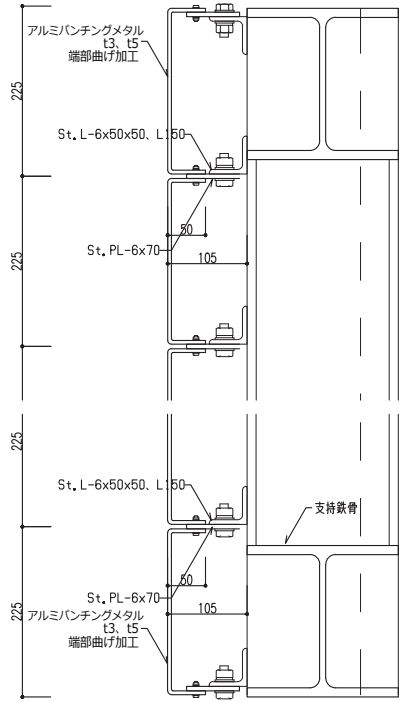


■アルミパンチングメタル 平面詳細

- ・外壁ラインから約 1m 程度アルミパンチングメタルの面を張り出す構成としています。軒天のルーバーとは平行になる部分においてはルーバーピッチに同じむ納まりとしています。



■アルミパンチングメタル 断面



■アルミパンチングメタル 断面詳細

Theme

スパイラルアップ

・コンセプト

門真市は、「ものづくり」の町として発展してきました。
その土台となるバネ、ネジ、コイルの形状であり、
建築の特徴でもある「スパイラル」を取り入れた
サイン計画としています。<